

GAコントローラー 位置設定①

※パイプレスシャッターの場合は各種設定後必ずサンプリングをおこなってください

位置設定で行える設定と操作方法

位置設定モードでは次の項目の設定が行えます。

- 上限・下限停止位置の設定
- ECOレベルの設定
- 光電管センサーキャンセル位置設定

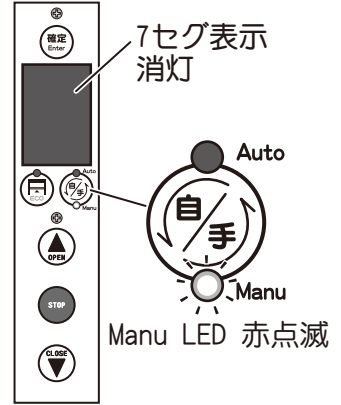
位置設定モードへの切り替え操作

運転モードから位置設定モードへの切り替えは、コントローラーの操作スイッチで行います。

手動運転モードでボタン操作し位置設定モードに切り替え



位置設定モード



※設定モードで同じ操作をすることで運転モードに切り替わります。

写真・図は70mm角フレームのスイッチ操作を示します。50mm角フレームの場合は一部スイッチの配置が異なりますが、操作するスイッチは同じです。

Manu LEDの点滅で位置設定中を示します。

位置設定モード中の開閉操作について

位置設定モード中は、OPEN/CLOSEボタンを押している間のみシートが低速で上昇または下降、手を離すとその場で停止、押し続けると速度が上がり動作します。



輸送中の振動などでシートに巻き込みが生じる場合があります。
位置設定を行う際は、「CLOSE」スイッチを操作して一度巻き取りボックス内のシートをすべて引き出した後「OPEN」スイッチを押してシートにシワや斜め巻きが出来ないように注意して巻き取ってください。

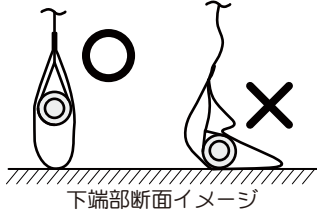
位置設定時のポイント

①上限停止位置

巻き取りボックス下
シート下がり寸法
G型:70mm

②下限停止位置

下端シートが床に隙間
無く接触し、シートに
弛みの無いこと。



③ECOレベル

用途や通過する物体の高
さに応じて設定

④光電管センサーキャンセル位置

シートを検知し反転上昇を
防ぐ設定

※キャンセル設定した位置以下では
光電管センサーが機能しません。



光電管センサーキャンセル位置設定を行う際は、キャンセル設定を行う光電管センサーから100mm程度上の位置でシートを止めて設定操作を行います。

*サンプリングとは

パイプレスシャッターの各設定変更後に通常運転時の状態をコントローラーに記憶させることをいい、一度シャッターを開閉させることで完了します。設定完了後は必ずサンプリングを行い、運転確認をしてください。
※ サンプリングを行わないと手動モードから自動モードに切り替わりません。

GAコントローラー 位置設定②

各種位置設定

位置設定で行う各種設定について

①上限停止位置の設定操作（全開位置の設定）



上限設定したい位置で

確定
Enter を押したまま

OPEN を押す

7セグ画面の表示

P → E

設定完了

②下限停止位置の設定操作（全閉位置の設定）



下限設定したい位置で

確定
Enter を押したまま

CLOSE を押す

7セグ画面の表示

P → b

設定完了

③ECOレベルの設定操作（ECOモードで停止する位置の設定）



ECOレベルに設定
したい位置で

確定
Enter を押したまま

ECO を押す

7セグ画面の表示

P → E

設定完了

○ 位置設定モード項目の先頭には「P」が表示されます。

※ECOモードを使用しない場合は、必ず上限の位置でECOレベル設定を行ってください。

写真は70mm角フレームのスイッチ操作を示します。50mm角フレームの場合は一部スイッチの配置が異なりますが、操作するスイッチは同じです。

GAコントローラー 位置設定③

各種位置設定

位置設定で行う各種設定について

④光電管センサーキャンセル位置の設定操作 (光電管検知ををキャンセルする位置の設定)

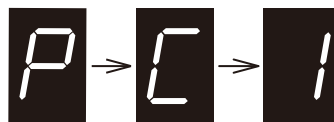
光電管センサー1キャンセル位置



設定したい位置で



7セグ画面の表示



設定完了

光電管センサー3キャンセル位置



設定したい位置で



7セグ画面の表示



設定完了

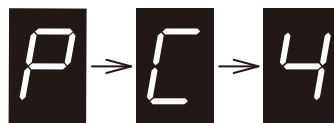
光電管センサー4キャンセル位置



設定したい位置で



7セグ画面の表示



設定完了

○ 機能設定「F07:光電管キャンセル設定」を「1:ON」に設定してください。(機能設定は35ページ参照)

○ センサー番号が不明な場合は、「入力チェック表示一覧」の機能を使用することで番号を確認できます。

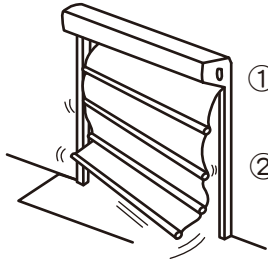
写真は70mm角フレームのスイッチ操作を示します。50mm角フレームの場合は一部スイッチの配置が異なりますが、操作するスイッチは同じです。

パイプが外れた場合



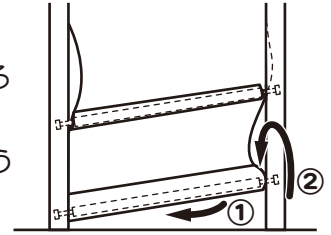
警告

台風などの強風時は門番に近づかないでください。風にあおられたシートやパイプにより思わぬ事故になる場合があります。作業の際は必ず電源を切ってください。作業中門番が動作すると思わぬ事故になる場合があります。



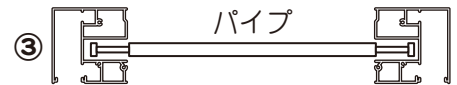
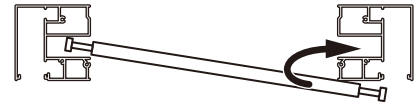
① 外れた片方のパイプをサイドフレームの奥まで入れる

② ①で入れたパイプが外れないよう押しつけながらもう一方を持ち上げ、サイドフレームに入れる。



③ 外れたパイプを入れた後、正しくサイドフレームに納まっているか確認する。

④ 電源をONし、手動モードで上昇下降動作を繰り返し正常に開閉することを確認する。



サイドフレーム断面



修復後はシートがスムーズに上下動作する場合は停止スイッチと下降スイッチを交互に押し寸動動作で下限位置まで下降させて作業してください。



警告

シート破れ・穴やパイプ折れ・曲がり・ローラー部・フレームなどに破損がある場合や、異音・動作に異常が見られる場合は、ご使用を止め速やかにお買い上げの取扱店にご連絡ください。そのまま使用すると思わぬ事故や故障につながる場合があります。

パイプがやシャフトが折れて交換が必要な場合

ご使用中の製品について不明な点や事故が生じた際は内容をお控えいただき取扱店またはメーカーへお問い合わせください。トラブルの際はその時の状況をできるだけ詳しくお教えてください。

●ご使用中の門番の型式と製造番号 型式（ ） 製造番号（ ）

●ご使用期間 約（ ）年（ ）ヶ月

販売店 TEL （ ）